

新版

# 臨床



補綴治療前に  
必ず読みたい1冊!!

# 咬合補綴治療

その鑑別診断と治療計画 今井俊広 / 今井真弓 著

補綴治療を行う上で必要になる鑑別診断・診査項目について、日常臨床で活用できる情報がふんだんに盛り込まれている。とくに咬合治療については、顎関節の診断の仕方、適切なガイダンスや咬合高径の見極め方、各種診断方法の妥当性など臨床に直結する情報が、10~20年以上にわたる長期症例とともに簡潔に解説されている。時代にとまない、閉塞性睡眠時無呼吸症候群への対応も新たに網羅。



本書の  
見どころ

咬合補綴治療の目的と指標

咬合補綴治療の分類と治療の流れ

咬合補綴治療の診査事項

複雑な咬合補綴治療の進めかた

咬合補綴治療時の基本事項

バイオメカニカルストレス

中心位と生理的顎頭安定位

診断用模型の重要性

アンテリアガイダンス

咬合高径

TMD をともなった症例の補綴治療

ブラキサーの補綴治療

インプラント補綴治療と咬合

スプリントの有効活用

閉塞性睡眠時無呼吸症候群



## CONTENTS

### 第1章 咬合補綴治療の目的と指標

1. 咬合補綴治療の目的
2. 顎口腔系の生理的關係から咬合を分類する
3. 咬合補綴治療の治療位はICP? CR?
4. 下顎位の生理的要素
5. 咬合(歯単位)の基本要素
6. アンテリアガイダンスの有無と筋活性

### 第2章 咬合補綴治療の分類と治療の流れ

1. 咬合補綴治療の分類
2. 症例を分類し分析する習慣をもつ
3. 分類ごとに必要な診査とは

### 第3章 咬合補綴治療のための診査事項

—症例に応じて必要な診査を見極める—

1. 咬合補綴治療のための診査事項
2. 一般診査
3. 臨床的な診査
4. 診査の流れと評価・診断の実際

### 第4章 複雑な咬合補綴治療の実際

—診査・診断の後、どのように治療を進めるか—

1. 咬合補綴治療の流れ
2. 治療目標と最終ゴールをイメージしたワックスアップ
3. プロビジョナルレストレーション
4. クロスマウントプロシーチャー
5. 補綴物のスプリンティング(固定)
6. 咬合平面の角度の設定と咀嚼ストロークの関係
7. 咬合接触の与えかたと調整法

### 第5章 咬合補綴治療を行うにあたり知っておきたい基本事項

1. 顎口腔系の機能 Function
2. 生物学 Biology
3. 補綴物の構造 Structure
4. エステティック Esthetics

### 第6章 咬合によるバイオメカニカルストレスの臨床的影響

1. 顎口腔系に生じるメカニカルストレスの影響
2. 歯へのメカニカルストレスの影響
3. 歯周組織へのメカニカルストレスの影響
4. 筋肉へのメカニカルストレスの影響
5. 顎関節へのメカニカルストレスの影響

### 第7章 中心位の定義と生理的顎頭安定位の解釈

1. 中心位の定義の変遷
2. 顎関節規格写真による顎頭の位置と症状の比較
3. 顎頭の位置と咬合は関係があるのか?
4. エックス線画像だけでは顎頭位の判定が困難な症例もある

### 第8章 スタディモデル 診断用模型の重要性

1. 咬合補綴治療におけるスタディモデルの位置づけ
2. スタディモデルの臨床的活用
3. 咬合器に模型を装着する意義
4. 咬合器の選択
5. パナデント咬合器

### 第9章 アンテリアガイダンス

1. アンテリアガイダンスの重要性
2. 咀嚼ストローク
3. ディスクレーション(臼歯離開)

### 第10章 咬合高径

1. 咬合高径の評価の必要性
2. 咬合高径の平衡理論
3. 咬合高径決定の判断基準
4. 咬合高径決定要素 種々の検討
5. 生理的範囲での咬合高径変更の可能性

### 第11章 TMD をともなった症例の補綴治療

1. TMD と咬合の関係
2. TMD 症状を有する患者の補綴治療

### 第12章 ブラキサーの補綴治療の留意点

1. ブラファンクションとは
2. 水平的ブラキサー
3. 垂直的ブラキサー
4. 下顎の偏位や干渉歯の影響を受けたブラキサー
5. 注意すべきパラファンクションの信号
6. パラファンクションの原因
7. パラファンクションとストレス解消機構
8. ストレスと摩擦についての実験

### 第13章 インプラント補綴治療での咬合

1. インプラント補綴治療での咬合の留意点
- 2.ブリッジとインプラント補綴治療の選択評価

### 第14章 オクルーザルアプライアンス

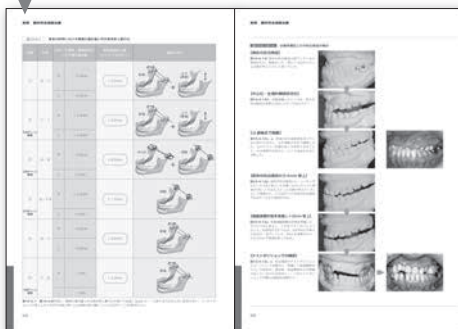
—(スプリント)の有効活用—

1. オクルーザルアプライアンスの目的
2. オクルーザルアプライアンスの種類
3. スプリントの臨床目的
4. オクルーザルアプライアンス(スプリント)の製作

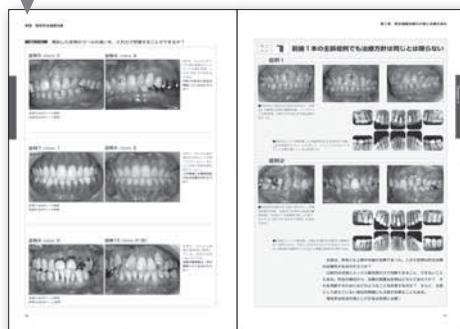
### 第15章 咬合治療の臨床的観点から閉塞性睡眠時無呼吸症候群を考察

1. 歯科従事者こそOSAS に気づき対応できる!
2. OSAS の疫学的見地
3. OSAS の原因
4. 治療法について
5. 口腔内装置(Oral Appliance:OA)
6. OSAS と咬合とのかわり
7. 上気道抵抗症候群UARS と咬合のかわり
8. 骨格の形態、過去から未来

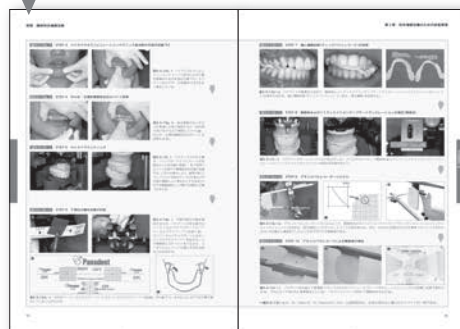
### 咬合高径の設定にこだわる



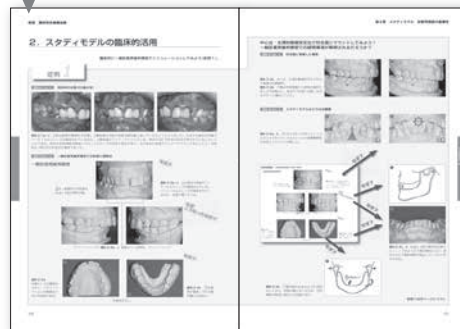
### 咬合補綴治療の鑑別診断を徹底的に学ぶ



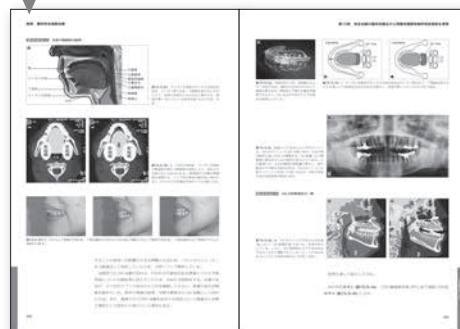
### 顎機能の診査に強くなる



### スタディモデルから症例の過去を読む



### 閉塞性睡眠時無呼吸症候群へ対応



きりとり線

注文書

新版 臨床咬合補綴治療 その鑑別診断と治療計画

モリタ商品コード:208040117

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒 )		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。  
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。